

三陸沿岸道路の新たな考え方

平成27年12月18日
国土交通省 東北地方整備局

3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について

H23.9.21 社会資本整備審議会道路分科会
東北地方小委員会(第4回)資料1より抜粋

①強靱生の確保(ルートは津波浸水区域を回避 → 三陸縦貫自動車道は**95%回避**)

三陸縦貫道(釜石山田道路)

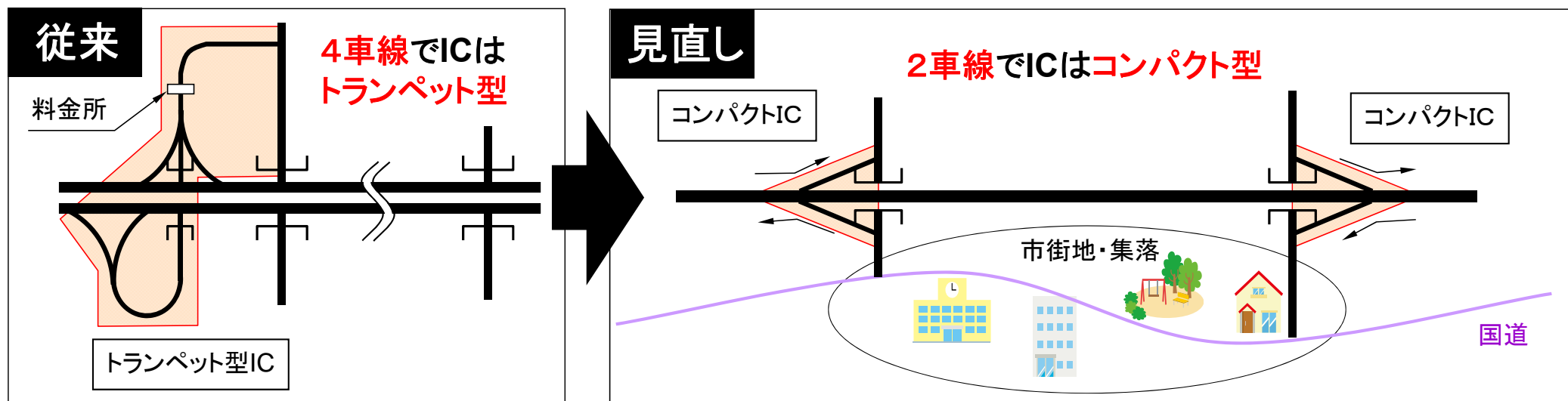


三陸縦貫道(山田道路)



3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について

②低コストの実現(4車線・トランペット型IC → 2車線・コンパクト型IC)



③復興まちづくりの支援

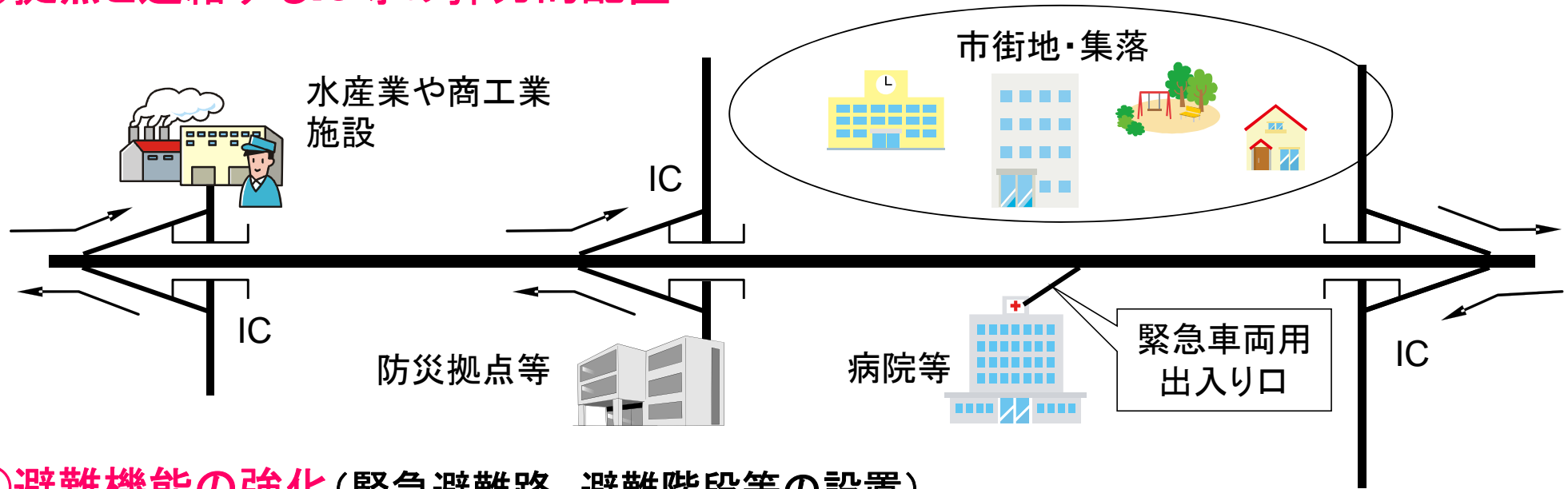
南三陸町の例

高台に計画されている居住ゾーン等とのアクセスに配慮



3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について

④ 拠点と連絡するIC等の弾力的配置



⑤ 避難機能の強化 (緊急避難路、避難階段等の設置)



⑥ ICT (情報通信技術) による通行可能性把握 (ITSスポット等で走行速度等を収集)